

やらせのまかり新聞

2017 新春号
2017年1月 発行

岐阜県議会議員
松岡正人
県政活動報告



経験を活かして、さらなる飛躍!

今年の四月で県議会議員になって10年が経とうとしていますが、日頃から皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。今年度は県議会の企画経済委員会、広報委員会の委員長をはじめ森林公社や岐阜県信用保証協会、産業経済センター、研究開発財団などの理事や委員などの役職を仰せつかっております。岐阜県は人口減少や若者の県外流出そして少子高齢化という大きな課題を抱えていますが、活力を創造する経済施策や産学官金の連携、そして安心安全なまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。岐阜県の活力、そして産業都市である各務原市のさらなる躍進を目指して、中小企業支援をはじめ人材育成や研究開発の助成に対して積極的に取り組んでまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

基盤整備の推進

各務原市から県への基盤整備に関する重点要望事項

- ① 新愛岐大橋の早期完成
- ② 犬山・東町バイパスの県道認定と早期着手
- ③ 岐阜・鷺沼線の県道認定と早期着手
- ④ 日野・岩地・大野線の県道認定と早期着手

この4点については私が県議会議員になる前からの要望事項ですが、厳しい財政事情や東海環状自動車道の東回りに続いて西回りの整備が最優先とされているために県単独事業としての早期推進が困難な状況です。しかしながら、緊急時や災害時の輸送道路や回路としての重要性などを訴えることと道路維持予算や国からの補助金を活用しながら各務原市と連携しながら、日野岩地大野線の16M道路長塚町交差点から国道21号イオン交差点までの拡張工事が実現しつつあります。

現在 私が取り組んでいること

- ・岐阜鷺沼線のマックスバリュー以西、新境川の架橋
…12月に建設の効果検証のための県と市の間で勉強会が立ち上がりました。
- ・大野町などインターチェンジ近くの都市計画推進のための日野岩地大野線21号線以南の拡幅工事
…道路維持予算の確保による推進。
- ・岐阜鷺沼線、日野岩地大野線の事業推進のための岐阜県・各務原市・岐阜市の連携強化
…平成27年11月に各務原市と岐阜市で日野岩地大野線の研究会が立ち上がっています。

新規事業としての事業決定には時間がかかりますので道路維持予算の活用など知恵を絞りながら、根気よく県と交渉を重ねるとともに各務原市と岐阜市にも働きかけて利便性向上と安全確保のために頑張っており実現に向かっていきます。

ミナレク運動 県民1人、1レクリエーション



全国レクリエーション大会は、9月23日から25日までの3日間で大会史上最大規模となる約65,000人が参加して県内各市町村で開催されました。大会前イベントを含めれば約17万人が参加し、県民がレクリエーションに関わる大きな転機となりました。古田知事は、「これから毎年、レクリエーション大会を最大限の規模でやっていきたい。」と述べるなど、レクリエーション王国ぎふに向けて「ミナレク運動」などの新たな取組みがスタートします。

【ミナレク運動】とは

- ・県民みんなが1つはレクリエーションを実践することを目指す運動です。

私の取り組み

- ・スポーツ推進条例の提案と条文へのレクリエーションという文言の盛り込み
- ・県営公園にレクリエーション施設を充実することや教室の開催
 - ・県営各務原公園内
 - ・グランドゴルフ教室の設置、
 - ・卓球台と道具のレンタル開始
 - ・河川環境楽園内にレクリエーション広場を新設する働きかけ



「産業都市かかみがはら」のさらなる躍進を目指して!

1 岐阜県成長産業人材育成センターが各務原市に開設されました



岐阜県は、外的要因や経済変動に強く、バランスのとれた産業構造を目指すため、「岐阜県成長・雇用戦略」において、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーの5分野を成長分野と位置付け、重点的に研究開発や人材育成・確保などの支援を行っています。その人材育成支援の新たな拠点として、各務原市のテクノプラザに「岐阜県成長産業人材育成センター」を開所しました。本センターには、約30から150人が収容できる研修室、航空宇宙産業向けの実習室を整備し、成長産業と位置付ける5分野に関する研修を実施します。産業界のニーズを明確に把握し、成長分野への進出、世界に通用する人材育成を支援し、成長産業の更なる発展につなげていきます。

2 各務原市に新たな工業団地を!

工場用地開発可能性調査事業

◆事業内容

工場用地候補地における土地開発規制の有無、概算事業費や分譲可能価格の算出、土地利用計画図の作成等

岐阜県では、新たな工場用地の確保が喫緊の課題となっていることから平成32年度までに新たに300ヘクタールの工場用地を確保する目標を掲げて県内の工場用地を戦略的に開発するため、平成27年度より未だ構想段階にある市町村の工場用地候補地について、開発可能性調査を直接実施して事業の構想段階から実施段階への速やかな移行を支援しています。

平成28年度に各務原市内の候補地にも調査予算がついて、
各務原市と協議しながら検討が進められています。

3 各務原市内に工業科クラスの設置を!

中小企業にとって人材確保がより一層困難な時代になり、製造業が盛んな各務原市では求人倍率が高くなっています。岐阜県教育委員会では県立高等学校活性化計画策定委員会を設置して、岐阜県に誇りと愛着を持ちながら「地域社会人」を育成する為に、高校の特性や学科配置のバランスが検討されています。私自身が公約として「産業人材の育成」のための高校再編を掲げているので、2月26日に各務原市商工会議所会頭とともに教育委員会と商工労働部に対して「各務原市内に工業科もしくはモノづくり学科の設置について」要望を提出しました。



私の作成した提案書

1月14日 都市計画道路要望

県庁の議会棟の会議室で都市計画道路「日野岩地大野線」と「犬山東町バイパス」の早期事業化の要望に関する会議が行われました。「日野岩地大野線」については数年前から岐阜市と共に要望していますが、各務原市西部の南北道路で岐阜市にとっても高速道路のアクセスなど利便性は格段に向上します。

また「犬山東町バイパス」については各務原市東部の南北道路で、坂祝バイパスの開通に伴い中濃地域と愛知県を連絡する重要な役割を果たします。いずれも各務原市だけでなく岐阜県南部の活性化に大きな役割を果たすと考えられますが、計画決定から相当時間が経過しており早期の事業化が大きな課題です。



2月26日 提出議案に関する説明会

昨日に続いて「提出議案に関する説明会」が行われ、午前中に厚生環境関係、午後からは農林と企画経済の所管に関して執行部から説明と議員からの質疑の時間がありました。私自身が一般質問で提案してきた施策、産学金官連携人材育成定着プロジェクト(2780万円)や岐阜ジビエのブランド化(6500万円)、大学との連携による県内就職促進(補正1070万円、次年度546万円)などが予算化されて嬉しく思います。各務原市に関連した予算も、航空宇宙科学博物館関係5億1700万円や成長産業人材育成拠点の整備(1億7190万円)はじめ多額な予算をつけていただき期待の大きさを感じます。夕方には各務原商工会議所の方々に同行して、教育委員会と商工労働部に対して「各務原市内の高校にもものづくり学科の新設」の要望をしました

3月23日 県有施設再整備対策特別委員会

県議会定例会は明日で閉会ですが、今日の午前中は県有施設再整備対策特別委員会が開催されました。岐阜県庁舎再整備基本構想の案の説明を受けてから質疑が行われ、私は二点について質問と提案をしました。1点は駐車場の確保と配置そして公共交通機関の活用について、もう一点は管財課と公共建築課の人員増強と管理体制の見直しについて提案させていただきました。駐車場については12月の定例会において職員の自動車通勤について質問しましたが、県庁の敷地内に膨大な職員駐車場を設けることには疑問を感じます。

4月30日 かかみがはら航空宇宙科学博物館 予算拡大

一昨日のかかみがはら航空宇宙科学博物館の大使に山崎直子氏が就任するという記事に続いて、昨日はリニューアルの予算が49億円に増額する議案が提出されることが報じられました。まだ県でも市でも議決されていませんが、何とか実現して「日本を代表する」と形容される博物館になって欲しいと思います。ハード面もさることながら、JAXAや航空技術研究所などとの連携やミュージアムショップの充実などのソフト面の拡充を同時に欲しいと感じます。先日の航空自衛隊岐阜基地のランウェイウォークの際に自衛隊の方にも提案しましたが、春休みや夏休みには自衛隊のバスツアー実現して欲しいです。

6月27日 岐阜県公共施設等 総合管理基本方針推進本部

企画経済委員会が開催されて、付託された予算および条例に関する議案と提出された請願書についての審議が行われましたが、「かかみがはら航空宇宙科学博物館」の増額補正について多くの質疑が出ました。当初30億円の予算が48億円越えに増額になった経緯について「宇宙に関する展示スペースが大幅に増えたこと」「外溝工事や増築に関する工事の追加」などが説明されたあと、採決を行い共産党議員が反対されましたが賛成多数で可決されました。先週の私の一般質問の登壇によって知事を本部長とする「岐阜県公共施設等総合管理基本方針推進本部」が設置されることになりましたが、今後の動きに注目して行きたいと思っています。企画経済委員長を務めているので委員会においての意見などは控えています。議員になってから登壇することを心がけている一般質問においてはしっかりと自分の意見や提案を伝えていかなければと思っています。

6月28日 岐阜県産業経済振興センター

公益財団法人岐阜県産業経済振興センターの平成28年度第3回評議員会に岐阜県議会企画委員長として参加させていただき新任評議員としての挨拶があり、3月の定例会において議員発案によって制定された「岐阜県中小企業・小規模企業振興条例」について紹介させていただきました。正味財産増減計算書承認などの議案そして決算報告がされた後に意見交換が行われて経済団体や大学、金融機関関係者がたくさん参加されていたのですが、指名をいきなり受けて感想や意見を求められ少し戸惑いました。人口減少や少子高齢化に伴い人材確保が大きな課題であること、担い手育成が急務であること、産学金官の連携などについて、議会で働きかけてきたことを紹介しながらご意見を述べさせていただきました。後継者不足によって事業継承に大きな課題があることや低金利の状況下での企業の設備投資動向や資金ニーズ、岐阜大学の産学連携の取り組みなど、評議員の皆さんの様々なご意見は大変に勉強になりました。

毎日更新しています。
facebook とともに是非ともご覧いただき、ご意見をお寄せ下さい。



7月7日 各務原市都市建設事業推進会議

平成28年度各務原市都市建設事業推進会議が行われ、各務原市から岐阜土木事務所に対して要望書が提出されました。道路・街路関係7件と河川関係1件の要望が各務原市から説明されて、岐阜土木事務所の担当者から取り組み状況などの報告が行われました。各務原市のみではなく近隣市町にとってもストック効果は大きい道路が多いので、県として積極的に取り組む方向ではあるものの予算については厳しい状況です。「コンクリートから人へ」というスローガンを掲げて政権を取られたことがあります。地方にとっての公共工事とインフラ整備は絶対的に必要ですのでしっかりと取り組みたいと思います。

8月7日 頑張れ、消防団!

「消防感謝祭」第65回岐阜県消防操法大会が多治見市の星ヶ丘運動公園で開催され、例年のように各務原市代表チームの競技時間にあわせて激励に出掛けました。岐阜県で最も暑い街多治見市でしかも最も暑い時間13時56分に操法開始、見学しているだけでも汗だくだったので選手の皆さんは大変だったと思います。先週の日曜日の早朝練習の際に激励に伺いましたが、5月の市大会で選抜されてから長期間にわたる練習の成果で素晴らしい操法でした。選手及びご家族の皆さん、応援やお手伝いした消防団の皆さん、指導に当たられた消防署員さん、関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

9月5日 政務調査委員会

自民党岐阜県連の政務調査委員会が開催され、9月の県議会定例会の代表質問の内容の検討と意見書について議論されました。代表質問については自民党政務調査委員会で毎回検討されますが、質問者の考え方や取り組みで大きく差が出るので自民党として必要な質問の精査が必要です。午後からは県行政と県内企業との情報共有について労働雇用課と高校生の実践的な取り組みについて教育委員会とヒアリングを行いました。今回の議会も一般質問に登壇を予定しているので、しばらくの間それぞれの担当者との打ち合わせや意見交換が続きます。



10月27日 観光に対する投資

石川県庁での説明のあと北陸新幹線の開通に合わせて整備された金沢城公園と兼六園で運営や整備状況について現地説明を受けました。新幹線開通の効果で兼六園は1.5倍、金沢城公園は1.7倍の入場者になっているそうですが、玉泉院丸庭園をはじめとする整備や建設にかなりの財源が投入されていました。隣接する「しいのき迎賓館」は旧石川県庁をリニューアルした施設ですが、観光地のメリットを最大限に活用しながら大学コンソーシアムなどを配置することで若者の集いも創出していることは素晴らしい取り組みでした。金沢駅周辺もバスの停車場などの整備も行き届いて観光に対する取り組みを感じましたが、新幹線開業後に旅行消費額が3223億円となり22%増の581億円増収したのは大きな先行投資があったからだと感じました。



11月8日 二つの広報委員会

今年度は県議会だよりなどを作成する県議会広報委員会と自民党の街頭活動やポスター作成などを担当する自民党岐阜県連の広報委員会の二つの委員長を仰せつかっています。今日は午前と午後それぞれ委員会が開催されて委員長として進行役を務めました。県議会だよりの第7号は新たにQRコードを入れたり色使いも明るくすることで見やすい紙面になったと思います。自民党岐阜県連のポスターについては、各委員がそれぞれの企画を持ち寄ってのコンペ方式とすることを前回私から提案をさせていただき、皆さんの想いがこもった素晴らしい提案が行われました。県議会や自民党について少しでも多くの人に関心を持っていただき、いろいろなご意見をいただけるように取り組んでいきたいです。



11月25日 まちづくりシンポジウム

毎年この時期に各務原市中央図書館で行われている、まちづくりシンポジウム「みんなで作る～かかみがはらの風景～」が開催されて来賓として参加させていただきました。第一部は第6回各務原市都市景観賞の表彰式と受賞建物の講評や各務原市の景観行政に対する評価について30分ほどあって、第二部は神戸芸術工科大学の小浦久子教授の「景観に地域らしさを見つける」という講演を聴講しました。「景観とは、そこに住む人々にとっては当たり前風景を語ってみること、景観を語ることは地域の見方を考えること」というフレーズが印象的でしたが、いずれの大学教授も各務原市の景観行政に対する先進性と積極性を評価されていました。桜回廊については全国的にも珍しく誇るべきということもお話があり、戦後間もなく祖父が町長として政治生命をかけて桜並木を復元した功績は改めて大きかったと感じました。

応援します!「中小企業・小規模企業」

1 「岐阜県中小企業・小規模企業振興条例」を提案し策定しました



県内企業のほとんどを占める中小企業、その大部分を占めている小規模企業は、特色ある事業活動を行い多様な就業の機会を提供することで、県の経済と雇用を支える重要な役割を担ってきました。各務原市においても同様ですが、人口減少や国際競争の激化などの影響で中小企業の人材確保や販路拡大そして技術力の向上は大きな課題になっています。

「岐阜県中小企業・小規模企業振興条例」策定における私からの提案

- ・ 教育現場で「中小企業の重要性と役割の大きさ」に対する理解を深めること
- ・ 金融業界の競争が厳しい県内の特性を活かした産学官金の連携による施策を講ずること
- ・ 人材確保や育成にコストがかかることに注視して、県行政が産学金と連携してバックアップすること

こうした提案を平成27年の7月と12月の定例会にて一般質問で県に対して行うとともに、中小企業推進条例を議員提案することに取り組みました。そして条例策定検討委員会において、提案を条文に取り込み本年4月1日に条例が施行されました。中小企業・小規模企業に対する施策が一層推進されて、岐阜県そして各務原市の経済が活性化されるように取り組んでいきます。

2 岐阜県と大学の就職に関する協定が締結されています

平成27年7月の県議会定例会一般質問で私が県に対して提案した「県と大学との就職に関する協定」が2月22日に愛知県内の大学と初めて提携されて翌日の新聞にも報じられました。愛知県3大学と岐阜県内1大学に続いて、8月3日には母校である同志社大学とも協定が結ばれました。今後多くの大学と協定が結ばれていくと伺っていますが、若者の県内への就職支援や県内企業の人材確保に繋がるように取り組んでいきます。人口減少や若者の県外流出など地方創生を進めるうえで大きな課題はたくさんありますが、若者が魅力を感じる「清流の国ぎふづくり」に向けて頑張らなければなりません。



12月現在協定を締結した10校(締結順)
愛知学院大学、愛知大学、中部大学、朝日大学、同志社大学、岐阜経済大学、岐阜女子大学、岐阜市立女子短期大学、大垣女子短期大学、立命館大学

3 「オール岐阜・企業フェス」が開催されました

県内企業への就職に対しての県としての新たな取り組み

人口減少社会を迎えて県内中小企業にとって人材の確保が大きな経営課題になっている中で、県内外の学生を県内企業への就職につなげ、県外流出を防止していくことは必要不可欠となっています。県として施策の必要性を感じて平成27年7月の定例会で、経済界、大学、金融機関と連携しながら学生の県内就職に対する推進策を一般質問で提案しました。そして、産学官連携による「オール岐阜・企業フェス」が11月23日にメモリアルセンターで実現して、本格的に就職活動を始める前の学生を対象に約1500人の学生が参加しました。県内企業百九十七社が参加し、企業によるプレゼンテーションをはじめ経営陣による海外ビジネスに関するトークセッションや保護者のための就活講座など、とても盛況だったようです。今後とも県内企業の人材確保のための助成や産学官連携による施策を一層推進していきます。

平成28年の一般質問

<http://www.pref.gifu.lg.jp/gikai/teireikai/>
(岐阜県のホームページ) で詳しく見ていただけます。

二回の定例会において一般質問に登壇させていただきました。6月に質問した県営住宅に関する質問を受けて、12月議会において県営住宅の単身者に対しても貸与できるように条例が改正されました。特別支援学校での就労支援にも積極的な施策を提案してきましたが、卒業後の生徒たちの就労支援についても充実するように10月の定例会で提案をしました。

平成28年6月23日 第3回定例議会にて

1. 県有施設の効率的かつ適切な維持管理について

- (1) 岐阜県公共施設等総合管理基本方針の推進にあたる全庁的な取り組み体制の構築について 総務部長
- (2) 公契約条例を踏まえた県庁舎等の建物維持管理業務委託の取り組み状況について

2. 県有施設の戦略的な活用について

- (1) 未利用施設の情報共有や有効活用に向けた取り組みの現状と今後の方針について 総務部長

3. 県営住宅の戦略的な活用について

- (1) 県営住宅の入居率低下の状況と今後の見通しについて 都市建設部長
- (2) 県営住宅の活用に係る今後の方針について 部長

平成28年10月6日 第4回定例議会にて

1. 県産農畜水産物の販路拡大とブランド化の推進について

- (1) 中京圏への販路拡大について 農政部長
- (2) 清流の国ぎふ産直市場「ジ・フーズ」の成果と課題、及び、それらを踏まえた今後の取り組みについて
- (3) 農業フェスティバルについて
 - ① 開催趣旨、開催場所、開催方法の見直しの必要性と今後の方針について
 - ② 県外からの誘客を促進する取り組みについて

2. 障がい者の就労支援と雇用拡大について

- (1) 特別支援学校での職業教育や就労支援についての取り組みと課題について 教育長
- (2) 企業や関係団体との連携について
- (3) 情報収集をはじめとする部局間の連携について
- (4) 障害者優先調達推進法の施行を受けた県としての取り組み状況と課題について 健康福祉部長
- (5) 企業に対する支援の状況と、ジョブコーチの育成についての現状と課題について 商工労働部長
- (6) 県障がい者総合就労支援センターの障がい者就労に向けた方針と取り組み、及び、特別支援学校との連携について
- (7) 障がい者の役務を創出していくための県としての新たな取り組みについて

かかみがはら航空宇宙科学博物館 から 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館へ

4月13日と14日JAXAへ視察に行きました。

JAXAの相模原キャンパスと筑波宇宙センター2件の研究施設へ視察に伺いました。一般見学者への展示やおみやげの販売を行っている部門もあって、職員さんからいろいろなお話を伺うことができ博物館のリニューアルに向けていろいろ参考になることがたくさんありました。



宇宙に関して関心の高い子供は非常に多くて、相模原キャンパスの施設を一般に公開するときには大変多くの来場者があり宇宙食などのお土産も人気があるということでした。また筑波宇宙センターには展示館である「スペースドーム」やグッズ販売の「PRANET CUBE」というミュージアムショップが常設されていて、展示物のみではなくショップ運営の状況も視察することができました。「筑波宇宙センターは眠らない」というJAXAの紹介ビデオや低コストで子供たちに宇宙科学の必要や生活への貢献を紹介したブースは、リニューアル後の博物館にぜひ取り入れて欲しいと思いました。

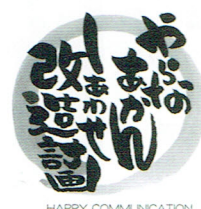
JAXAだからこそできることもたくさんありましたが、かかみがはら航空宇宙科学博物館らしい企画も今後たくさんできると思っています。例えば航空自衛隊岐阜基地との連携による企画などは大きな可能性がある1例だと考えます。今般の「かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル」に関しては、JAXAとしても大変協力的で注目していただいていることも感じましたし、展示物はもちろんお土産やグッズについてもご協力いただけそうなので今後より一層の情報交換が不可欠です。



私自身が今回の視察で感じたことは、中部地方は航空宇宙に関して製造のウェイトが高いにもかかわらず、JAXAの拠点は関東に比べて非常に少ないことでした。かかみがはら航空宇宙科学博物館がJAXAの提供する展示スペースにとどまらず、情報発信の拠点として「JAXA中部広報分室」として設置していただけるような働きかけが必要だと感じました。

まつおかまさと 松岡正人事務所

[事務所] 〒504-0908
岐阜県各務原市那加織田町2-5-1
[TEL] 058-389-6665
[FAX] 058-389-6676
[E-mail] shiawase@yaranaakan.jp



・ホームページ <http://yaranaakan.jp/>
・ブログ <http://yaranaakan.jp/blog/>
・facebook <https://www.facebook.com/pages/松岡-正人/131987690330451>

ホームページ



松岡正人

検索